

# **第 15 回伊勢市上下水道事業審議会 議事録要旨**

**令和 8 年 4 月 20 日**

## 第15回伊勢市上下水道事業審議会 議事録要旨

日時 令和8年4月20日(月) 13:30~15:00  
場所 伊勢市上下水道部庁舎 1階 大会議室

委員出席者 木本 凱夫 北岡 孝裕 萩原 浩司 松原智恵蔵  
高橋 克彦 澤村 哲弥 奥村 幸恵 川合 正良  
竜田 和代 大西 隆 黒川 竜男

委員欠席者 黒田 秀夫 田岡 光生

事務局 上下水道部長 濱口 新  
上下水道部次長(上下水道総務課長) 中山 誠  
上下水道部参事(下水道課長) 岡井 孝浩  
料金課長 北村 守  
給排水サービス課長 南 裕之  
下水道課副参事(計画係長) 川面 和彦  
上下水道総務課指導官 成川 誠  
上下水道総務課主幹(経理係長) 辻村 貴文  
上下水道総務課庶務係長 高橋 由佳理  
上下水道総務課経理係主事 藤崎 由香  
料金課主幹(下水道負担金係長) 松井 裕一  
料金課上下水道料金係長 中西 早紀  
下水道課主幹(下水道整備係長) 楠川 教寛  
下水道課主幹(施設管理係長) 北村 功郎  
下水道課雨水施設整備係長 山本 真也  
下水道課施設管理係主査 松岡 薫  
給排水サービス課排水設備係主査 中西 俊雄  
上下水道総務課庶務係 鳥羽 凌雅

議事録署名 奥村 幸恵 委員 川合 正良 委員

傍聴者 1名

議題 審議状況 1. 伊勢市下水道事業経営戦略の見直しについて

○開会挨拶 濱口上下水道部長

○司会進行 会長

**○議案第1号 伊勢市下水道事業経営戦略の見直しについて**

上下水道総務課から伊勢市下水道事業経営戦略の見直しについて説明。

以下、伊勢市下水道事業経営戦略の見直しについての意見聴取、質疑応答

**意**委員：追加した図表6について、計画の見直しを令和12年度、令和17年度を予定している。

現在の世界情勢を考えると、この間隔での見直しで適正か危惧される。

全体的な物価上昇の状況も踏まえた上で早めの行動をとっていただきたい。

**答**事務局：下水道事業経営戦略は10年計画であるため、基本的には5年ごとに見直しを行う。経営や財政の条件が大幅に変更となった場合、状況に応じて適宜見直しを行う。

**意**委員：複雑な状況が続いているので、できるだけ早期の見直しを検討していただきたい。

**答**事務局：社会情勢等しっかりと把握しながら、経営を行っていく。

**意**委員：パブリックコメントで出された意見の中で、専門用語が多いため、小学生にもわかりやすい表現を要望されていた。この公表がどの年齢層を対象にするかによって表現の程度を変えていただきたい。

**答**事務局：本経営戦略は下水道事業の将来の財政的な見通し等を目的に作成しているため、小学生を対象には考えていない。小学生に下水道の理解を深めていただくため、社会科副読本や下水道事業パンフレット等を作成している。また、下水道の普及・周知のために宮川浄化センター夏休み親子見学会等を実施している。

**意**委員：市のホームページへ掲載する際は、数字ばかりでは分かりづらいため、グラフを活用していただきたい。

**答**事務局：ホームページへ掲載する概要版はグラフを活用したのものを作成し、掲載する。

**意**委員：小学生にもわかるようにというのは、自身の立場で考えられなかったので、鋭い指摘だと思った。

**答**事務局：巻末に用語集を掲載しているが、一般的な下水道経営戦略の用語集として掲載しているものである。そのため、わかりにくい用語等あれば、今後も追加させていただきたい。

**意**委員：パブリックコメントで話題に上がった小学生について、上下水道のことは社会科副読本等で教育委員会と連携して、作っていただいていると思う。

昨今ニュースでも上下水道管の劣化が激しい中、インフラ工事の予算の問題がある。上下水道経営ということは、小学生には難しいと思うが、上下水道管が古くなってきていて、それを更新する工事がされていることを副読本等で扱っていただけたら、上下水道の役割は水を綺麗にする、汚くなった水を浄化して海に流すだけじゃないということをお子様のときから伝えていく契機になると思うので、わかりやすくして伝えていただきたい。

**答**事務局：副読本関係については、教育委員会と連携をとり、内容を更新していきたい。

**質**委員：本経営戦略の中に使用料改定という重要な部分が含まれている。これも含めて、意見なしということが、本当にいいのか。もう少し、審議会として真剣に考えなければならないのではないか。

**答**事務局：パブリックコメントについては、市のパブリックコメントの実施要綱に基づき、市民からの意見を広く求めたものである。ロードマップの中で使用料改定のシミュレーションを掲載しており、今回のパブリックコメントでも使用料改定に対する意見があると想定していたが、結果は意見がなかった。

**意**会長：審議の内容が、使用料改定そのものではなく、シミュレーションで提示されたと理解している。そのシミュレーションに対しての意見がゼロであったということと定められたパブリックコメントの機能は果たしている。

**意**委員：資料 1-2 23 ページの枠の 3 行上、「現在 1 ヶ月 20 m<sup>3</sup>使用した場合、2,300 円（税抜）である下水道使用料を令和 10 年度に 851 円（約 37%）、さらに、令和 15 年度に 221 円（約 7%）」とこの表現は非常にわかりづらい。もっと単純に書けないのか。改定率がどれだけ上がるかを非常に市民は気にされていると思う。「851 円（37%）、令和 15 年度に 1,072 円（47%）」と書くべきである。これはベースを令和 8 年度に置いて計算してみた。

**答**事務局：値上げの表現を水道のビジョンのときから内部でも検討させていただいており、現在 2,300 円/m<sup>3</sup>がまず 851 円（37%）上がる。そこから段階的にまた 221 円上がってという表現をしている。二つ合わせると現在、2,300 円から令和 15 年度は 1,072 円増え、パーセントでいうと 46.6%増である。そうすると、いきなり最初に 46%上がるのかという誤解を招くため、段階的に示している。今後、使用料改定の検討は避けられない状態と考えている。その際には、審議会、議会、市民にお知らせ、説明する際には、丁寧な説明を心がけたい。

**意**委員：第 14 回開催時の議事録の 3 ページ上から 6 行目、令和 10 年度に 851 円、令和 15 年度に 221 円増えるという表現があるが、これは間違いである。ほかの表現からすればここに「さらに」を付け加えるべきである。増額をできるだけ抑えたいという気持ちはわかるが、上がるのは仕方がないため、素直に書くべきである。

**答**事務局：第 14 回開催時の議事録 3 ページのシミュレーション内の「～令和 10 年度

に 851 円、令和 15 年度に 221 円増える～」の「、」の後ろに「さらに」が抜けているので修正する。

**意**委員：答申に、付帯意見をつけていただきたい。

先ほどから議論になっている使用料改定のシミュレーションが経営戦略に含まれている。非常に重要な部分である。これについて十分な議論をしていない。資料も出されてない。条件設定だけして結論だけ書かれている。審議会としてこれでいいのか。

これは、料金という市民が一番関心の強いところである。この審議会でも十分議論しなければいけない。そういう意味で、使用料改定に当たっては、いわゆるこのシミュレーション結果、こういったものが十分反映されるように配慮するとか何かそういう文面を一つ付けていただきたい。

**答**会長：私の理解では、本案は料金改定を行うわけではなく、料金改定をするにあたって必要なシミュレーションであり、料金改定まで踏み込んでいないと思う。

**意**委員：他の委員の意見を求めるべきである。

**質**委員：参考のシミュレーションの扱いはどうするのが難しいところだと感じる。ロードマップの参考という扱いはどのようにしているのか。

**答**事務局：今回は参考に挙げたシミュレーションであり、使用料改定を行っていくものではない。使用料改定に当たっては、いろいろなパターンのシミュレーションを示した上で検討を行っていききたい。

**質**委員：参考のシミュレーションの結果、これだけの増額が必要になると書かれているが、令和 8 年度から具体的な検討を進めるといったイメージでよいか。

**答**事務局：参考は一つの例であり、令和 8 年度から具体的な検討を進める。

**意**委員：今の説明であれば、付帯意見をつけていただきたい。

使用料改定に当たっては、先ほどの説明内容を十分踏まえて慎重に実施されたいと答申の付帯意見として付けていただきたい。

**意**委員：参考に使用料改定のシミュレーションと書いてあること自体については、今までの審議会の項目として挙げられていた。

使用料については、慎重に審議を尽くしていただきたいという文言があってもいいと思うが、参考という言葉を考えて付帯意見はなくてもよいと思う。

**意**委員：使用料改定はすべきである。このままでは、埼玉県八潮市のような事故が起こる。今は整備の拡張でよいが、ある一定の年数が経過すれば、いろいろな機器の更新の必要が出てくる。そのために使用料改定は絶対に必要である。使用料改定の根拠となる資料等を出して議論すべきである。

意委員：23 ページのロードマップで令和 8 年、9 年で検討して、令和 10 年から使用料改定というふうに取り上げられる。そのためにこのシミュレーションがあると読み取った。

だからこれが令和 8 年、9 年に事務局から使用料改定について各委員の意見を聞きたいというアプローチだというふうに思っている。

次回検討に入る前には、このような使用料改定について審議しているということを下水道パンフレットに掲載するなどして市民には知らせていただければと思う。

意会長：使用料改定そのものには踏み込んでいないが 22 ページの④で使用料改定の検討について、5 年に 1 回の頻度で行うと書かれている。これに基づく参考の使用料改定のシミュレーションである。付帯意見は、料金改定を行うならば、どのような文言がよろしいか。

答事務局：5 年ごとに検討して、現時点でも今後も、経費回収率が下がっていく中で、下水道使用料の改定の検討は行っていかなければならないと考えている。

下水道使用料の改定の検討を行う場合、十分なシミュレーションを行い、検討していきたい。

意委員：そういう趣旨を付け加えていただきたい。

意会長：いずれこの審議会でも改定の論議は避けられないと考えている。したがって付帯意見をつけておいた方が良くと思う。

「付帯意見：下水道使用料改定の検討を行う際には、慎重に議論を行うこと。」

○挨拶 濱口上下水道部長

○その他

- ・事務局より、次回の審議会については秋から春で予定しており、後日改めて日時と場所を通知する。
- ・4月24日（金）13：30より、木本会長・市長へ答申を行う。